

学校評価 保護者の自由意見 34件 (昨年度 29件)

学校

- ・コロナ禍の中ご指導お疲れ様でございます。緊急事態宣言が発令され、またもや通常の学校生活を送れないのは残念です。一日も早いコロナ収束を祈っております。今回の学校の対応として、まずは迅速なご対応に感謝いたします。
- ・新型コロナウイルスの感染が拡大した時には、オンライン授業を取り入れて頂きたいです。
- ・いつも大変お世話になっております。おかげさまで楽しく学校生活を送っているようです。温かく、面倒見のよい学校だなという印象をもって御校を受験いたしました。入学した現在も同じ気持ちです。おそらく、御校の ① ② ③ の設問部分がきちんとされているからなのでしょう。
- ・今後、コロナ禍において、休校になった場合を見据えて、オンライン授業の取り組みを始めてほしい。
- ・高2の修学旅行が中止になり残念です。(状況を考えてら致し方ありませんが) 高校に上がってから旅行がありませんでした。可能であれば(もちろん状況を鑑みてですが)卒業するまでに、近隣でも遠足のような行事をご一考頂けましたら、思い出が作れると存じます。
- ・高校からの進学で併設生となじめるか不安もありましたが、皆さん穏やかですぐに打ち解けられて安心しました。校風が落ち着いていて、安心して子供を預けられます。
- ・通学用の鞆ですが、ザブバックもあります。手荷物がおおくなり大変そうです。メインの鞆を大きくするか、学校指定になっても構いませんので大き目サイズのリュック等があると子供の体に負担が少ないように思います。
- ・前々からPC導入の話はお聞きしておりましたが、導入されない学年があるなど謎の部分も多くありました。
- ・本人は学校生活がとても楽しいと言っております。引き続き先生方の温かいご支援よろしくお願ひ致します。
- ・PCの使用時間と閲覧ページの制限設定が分からず、夜遅くなっても使用して困っていると話されているお母さまもいらっしゃいました。親への説明と周知も必要だと思います。
- ・台風や雪の天候、コロナに対する早めの対応に感謝しております。今後も宜しくお願ひします。
- ・コロナ禍の中、先生方の安心安全、感染症対策等へのご配慮に大変感謝しております。「毎日、学校へ行ける」という当たり前のことが幸せで大変なことだと思ひ知らされております。
- ・現況はまだ続くと思われ。学園祭、体育祭など、他校にもあるようにリモートでも規模が小さくてもできるように考えてほしいです。学校と家との往復だけではメリハリがつかず、張り合いがなく一度しかない中高生活を楽しませてください。
- ・満足はしていますが、今後のためにもオンライン授業の充実に取り組んでいただけると、2020年、4~5月のような期間でも、起床時間をコントロールがしやすいと感じました。
- ・いつもお世話になっております。コロナ対応でいろいろ大変だと思いますが、子供達が楽しく学んでいけるようこれからもよろしくお願ひ致します。
- ・校則を現代社会の流れに少しあわせてもよいのではないかと思います。

- ・新型コロナの影響もあると思いますが、学校での指導、サポートが少なく残念でした。和洋で良かったというのをあまり感じられない3年間でした。
- ・大変お世話になっております。先生方のご指導に感謝しております。中学生、学年の見分けがもう少しつきやすいと、コミュニケーションがとりやすいと娘が申しております。
- ・設問 ① の2の女性らしい教育とするよりも人間らしい教育とするべきではないでしょうか。
- ・制服以外のもの（カバンや冬のコートなど）は、個人で用意したものの着用可にして欲しい。特に、コートは指定のものは高価でありデザイン的にも子供には不評で購入する気にならない。必要な時期も短いので無駄になってしまう。三つ編みが必須でなくなったり、生徒の意見に柔軟に対応していただいているので今後のご検討を期待しております。
- ・高校3年生の保護者です。中学・高校と大変お世話になり先生方には感謝しております。和洋で良かったと娘とよく話します。あと少しで卒業かと思うときびしい気持ちでいっぱいです。今まで本当にありがとうございました。
- ・娘は毎日楽しく学校に通うことができていました。3年間ではありましたが、充実した日々を過ごさせたと思います。本当にありがとうございました。
- ・3年間、ご指導ありがとうございました。私も和洋の卒業生として懐かしく思いながら親子で楽しく過ごせた学生生活でした。先生方にはとても感謝しております。
- ・昨年度の保護者アンケートがホームページに掲載されているが、それらのアンケートに対しての学校側の回答のようなものも一緒に掲載すべきだと思う。
- ・大変お世話になりました。ありがとうございました。
- ・6年間ありがとうございました。この1年間、行事が全てなくなってしまい、きびしく思います。特に、最後の体育大会がなくなり、舞いが見られなかったのが残念です。
- ・学校のHP「保護者・生徒用」をもっと活用してください。今年度活用されましたか？Googleクラスルームへのメールは保護者が目に付くとは限りません。学校行事、日程の確認も高1の学年日より確認させていただいております。緊急時連絡のe-mailでは「学校HPにて確認」とありますので、本人はもとより保護者はHPを確認します。得意な学年と不得意の学年の差でしょうか。

※回答

コロナウイルスへの対応は初めてのことで、毎日がハラハラの連続です。連絡は早めにおこない、できる限り変更が多くならないように注意しました。ホームページの併用をおこなってはいますが、今後はさらに努力します。

校則などは社会の変化とともに改定しなければならないと考えています。教員では気が付かない面でも、生徒全体(生徒会)の意見に耳を傾けて真摯に対応します。鞆はPC導入に伴いリュックが必要と考え、黒系無地の私物を容認しています。現在、生徒会でリュックについて話しあわれていますので、全生徒の意見がまとまり次第、今後の在り方を検討します。コートについては、生徒の要望が多ければ検討します。

PCの導入は、2年前に2021年度入学生より順次購入を計画しました。これに合わせて各教室にWiFiとプロジェクター・ホワイトボードを設置しました。現中学と高校の2年生から前倒して導入の要望があり、許可致しました。その後、コロナ禍による休校が政府から要請され、中学2年生は9月の購入になりました。ご家庭での使用方法は特に学校で決めていません。

勉強時間の範囲内をお願い致します。また購入していない中学と高校の3年生は休校決定時で予約しても9月よりあとになるため、授業での使用が高校3年生で2ヶ月半、中学3年生で半年となることになりました。高額なものなので両学年とも購入しないことにしました。

学校2は「女性らしい」ではなく、「女子校らしい」教育ができていないかをお伺いしています。千葉県内では共学指向が強く、来年度から中学の女子校は2校、高校でも数校になっています。男子校はすでにありません。この状況の中でさらに女子校の意義を強調し、「凜として生きる」自立した女性の育成に努力していきます。

学習

- ・教職員担当教科によっても教え方に随分差が感じられます。大学のように担当の先生を選択できるようなになれば、先生方も漫然として授業できないのでは？と思ったりもします。他校との差を感じられる学校になれば、他の方にも勧められると思います。
- ・今は学校に行きたいと思っても集団生活が難しい子や起立性低血糖症で登校が厳しい子も多いです。ね。「学校に登校しなくても学習が進められる仕組み作り」も重要になってくると思います。PC導入と共にもっと活用して、いろいろな子に学習するチャンスをお与えください。あと、補習や補講のサポートが多いと思っていたのですが、期待外れだった感があります。
- ・こちらからの要望としまして、40分授業であるならば、リモートで通常時間で授業を実施したほうが教育の質は落ちないのではないのでしょうか？もちろんリモートで対応できない授業に関しては、学校へ登校し出来るだけ登校する際の電車やバス内での感染リスクを下げるということが現段階では必須だと思います。
- ・習熟度別授業（特に数学・英語）の実施や補習や補講の他に夏期や冬期の講座などを開講してほしい。
- ・コロナ禍ということもありますが、低得点の生徒対象の補習、補講だけでなく、一般対象のものも是非行っていただきたいです。
- ・礼法等の授業は、中学校からの生徒は6年間、高等学校からの生徒は3年間、しっかり受けるようにすると良いと考えている。これらを続けることによって、品の良い素敵な女性に近づくことができると考えるからである。
- ・高校2年生からの選択科目の選択肢を増やすべきだと考える。本人の将来の進路は文系にも理系にも属さないものであったが、どちらかの科目しか選べなかったり、勉強していたものが選択肢に含まれていなかったりした。そのことで、本人の勉強への意欲がわかなくなったり、授業を面白いと感じられなくなったりしていた。高等学校の学びが本人にとって実りあるものであるために、選択の幅を増やすことを考えていただきたいと考える。例えば、文系でも生物や生物基礎の勉強ができるようにする。
- ・ジェンダーレスの時代となっても「～らしさ」は必要と考えておりましたので、和洋での中高6年間の生活は親として満足しています。ただ、学業についてですが、下位の成績だった娘をみているともっと娘が熱心に取り組む姿を見たかったように感じています。先生方のご指導があったにもかかわらずそれにこたえることが出来ず申し訳ございませんでした。できれば今後もっと厳しい補習、追試等があれば娘のような「勉強」がわからなくなってしまうということ

は防げるのでは、と思います。最後に、毎朝安心して娘を送り出せたことは親として何よりの幸せでした。本当にありがとうございました。

※回答

オンライン授業ですが、今のところ対面授業(面接授業)の補完として考えています。40分授業であっても問題演習の部分を宿題にするなどの工夫をすることで、今までの50分授業と内容的には変わらないと考えています。昨年、休校が開始されたときオンライン授業を教員間で試しにやったところ、10人を超えた双方向遠隔授業では教員の確認が困難であるという結果になりました。国の機関によるデータではオンライン授業で家庭での生活が長くなったことで、中程度のうつ病傾向が中学生で1/4、高校生で1/3に見られたそうです。またストレスが増えた生徒は中高ともに半分以上だったそうです。今のところ対面授業が学業的にも精神的にも良いようです。また通勤通学時の感染が問題視されていないので、できる限り混雑時を避けることで授業維持ができると考えています。将来的にはオンラインによる遠隔授業が主流になるかもしれませんが、現段階では徐々に試行していきます。

授業の質については、年2回の生徒による授業アンケートをおこない点数化しています。最終的に校長と面談をして、是正する部分は指導します。さらに各種研修への参加により、全教員の質の向上に努めます。

学校で開催する講座については、検討してより良いものを設定していきます。また個人の質問などは常に受けています。グループで朝や放課後の定期的な補習を要望する場合は担当教員に申し出て頂ければ、生徒と教員の都合がつく限り受け入れます。

選択科目を増やすことは、できればやりたいです。しかし教員数に限度がありますので、選択者が10人に満たないであろう科目は設定できません。また理科の3つの基礎の科目は、全生徒が学んでいます。将来的には文理融合の分野も生まれていますので、工夫する必要を感じています。

礼法はもっとしっかりやりたいのですが、近隣校との関係でできない状況です。ただ茶道は気遣いや自分の在り方を総合的に学ぶのに、とても奥の深い日本文化です。茶道の先生には、心の在り方を学べるような授業の進め方をお願いしています。

生活指導

- ・挨拶は、まず先生が出来てなく、挨拶している生徒のほうが戸惑っている。(先生が挨拶しないので、しないと「挨拶は?」と言われ、次からするようにすると、やはり先生は挨拶しないのだそうです。)まず、教師の挨拶の徹底をお願いいたします。(守衛の方も挨拶する方としない方がいるようです。)
- ・修学旅行を欠席してディズニーランドへ行くために、出欠席のアンケートを欠席で提出した人が数名いたと聞きました。学校の指導が行き届いていないのではないかと思います。
- ・**3**-5の評価については、「コロナ禍」の現在、評価をすることが難しいです。
- ・部活動の指導が適切でなかったため、頑張っていたのに途中でやめてしまったことが残念でした。頑張っていない子が優遇され、頑張っていた子たちが悔しい思いをしていたので、今後そ

うならないとよいと思います。

- ・礼法で学んだことなどを家でもよく話してくれます。伝統ある女子校の和洋を選んでよかったですと思っています。新しいものを取り入れ先生方が大変努力してくれていると感じます。1つだけ気になっているのは、公共交通機関内でのカバンの持ち方です。混雑しているにもかかわらず、リュックを背負った正カバンを肩にかけたままの子がいます。家庭での指導事項ではありますが、中1や高1の早い段階でご指導いただけると目に付くことが減るかも知れません。中学・高校と充実した6年間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。
- ・ある運動部の先生が試合中に選手が衝突されケガをしたにもかかわらず、相手選手だけに声をかけ試合を再開し、病院に行き保険のお願いをしに行った際に「いつケガしたの」と言われケガをした日を伝えたら急に関係ない試合中のプレーについて指導してきました。そして他の和洋の選手がケガをした時はすぐかけより病院にも連れていっていました。この対応の差は臍負だと考えますが、学校側はどのように対応していただけるのでしょうか。
- ・今年度のみ対応としてリュックが許可されましたが、指導する先生によって基準が違いました。指導の際は、学校として基準を1本にして指導いただいた方が不信感はなくなります。校内での指導について、校長先生にもお話をさせていただきましたが、その後どのように変化、改善しているのかわかりません。子供は時に片寄った見方しかしないことがあるため、フィードバックしていただけると良いと思っております。こちらも考えた末の申し出でしたのでご理解いただければ幸いです。アンケート中で今年度行われていない行事、家庭ではわからない事柄などについては回答しておりません。ご了承ください。
- ・入学したころは、身だしなみがきちんとしていたように思います。最近は、表現は悪いですが公立に近くなってしまったように思います。先生方も難しいご時勢かと思いますが、「さすが和洋生」と地元の方々から言われるようにしていただきたいと思います。

※回答

挨拶の指導では、申し訳ありませんでした。早速職員会議でこのご意見を示し、生徒の人格と人権を否定する行為は許さないことを明言しました。

修学旅行での件は、中学3年生では該当者がいませんでした。高校2年生では12月中旬に提出の出席票で20%以上の保護者から欠席の提出がありました。この時期はコロナウイルス感染者がとても増えた時期なので、ある程度予想された結果です。結果的に1月の緊急事態宣言発令により、修学旅行を断念せざるおえない状況です。保護者のサインと印があるものは学校としてそのまま受け取ります。学校行事において生徒への指導は今後も努力しますが、ご家庭のご理解とご協力も宜しくお願い致します。

部活動の指導では、申し訳ありませんでした。とても残念なことで調べていますが、確定できません。職員会議でご意見を提示して注意致しました。

身だしなみについてはしっかりやります。学校内では生徒達はほぼ良くやっています。今後は校外でも自律して行動できるように指導致します。ご家庭のご協力も宜しくお願い致します。

進学指導

- ・ 4) に関しては、娘からの報告がないため、この評価にしました。先日行われた、専門学校の説明会などが校内であるのは、とてもありがたいです。1年生も終盤ですが、卒業後の進路について、あまりピンときていないようなので、今、どのような情報を集めて、どう動くのが良いのかアドバイスを頂けたらありがたいです。(既にされていますら、申し訳ありません)

※回答

高校1年生では探究科の授業で6つの企業と提携して、企業へのプレゼンテーションを半年かけて準備をしてグループでおこないました。学校では社会の仕事を伝えることをしていますが、限度があります。生徒自身で興味に関係する仕事を調べ、実際に関わる人の話が聞けると大きな経験になります。その時に大学では何を学んだかを聞くことが大切です。そして興味ある大学のオープンキャンパスに参加させてください。コロナ禍ではオンラインかもしれませんが、大学の人と実際に接することは、大きな刺激になります。

保護者との連携

- ・今年度は親も学校に行く機会に恵まれず、学校生活の内容がほとんどわからずに過ごしました。特に、コロナ禍にあって本人もとても不安な日々を過ごしました。
- ・行事等が中止になり、学校との接点が少なくなってしまった保護者といましては、日ごろの子どもの様子を知る手掛かりがありません。そこで、お忙しいとは思いますが、ホームページのUPの頻度を増していただけにないでしょうか？ご検討いただけたら幸いです。この度は、アンケートという貴重な機会をいただきましてありがとうございました。

※回答

学校としましては、保護者の方々との連携がなかなかできないことを残念に思っています。教員の自己評価でも「保護者への情報は適切である」の項目で、昨年度と比べかなり評価を下げてしまいました。

来年度は感染防止体制を維持しながらも、保護者の来校ができますように努力致します。またホームページへの通信を多く致します。また、今後はICTを活用した連絡方法も検討致します。